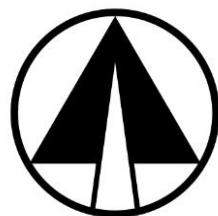


伊豆高原親和会連合自主防災会  
防 災 マ ニ ュ ア ル



伊豆高原親和会

# 連合自主防災会 防災マニュアル

## 大地震対応 2025年版

### 1 はじめに

本防災マニュアルは、伊東市に準じ事前の予測が難しく甚大な被害が予測される震度5弱以上の大地震（相模トラフ地震・南海トラフ地震等）を想定し、自主防災組織・平常時の自主防災訓練や防災対策などと、大地震発生時の防災活動や避難について役立つように作成しています。新規会員はもとより会員の皆様が自主防災会について理解を深め、自主防災活動に協力でき、被害を少しでも軽減できるような案内書として活用下されば幸いです。いうまでもなく、自主防災会は災害発生時などの緊急時において、地域住民が協力して自主的な応急活動を行う組織です。

### 2 伊豆高原親和会・連合自主防災会の組織

伊豆高原親和会は第1, 第2, 第3, 第4の4地区に分けられ、各地区ごとに自主防災会がもうけられています。各地区自主防災会は原則として、伊豆高原親和会の会員（主として定住者）によって構成されます。各地区自主防災会を統括する組織が連合自主防災会であり役員構成は次の通りです。

伊豆高原親和会 連合自主防災会	会長 1名（理事長） 副会長 4名以内（副理事長） 事務局 親和会事務所長
第1地区自主防災会	（各自主防災会共通）
第2地区自主防災会	会長 1名（地区会長）
第3地区自主防災会	副会長 4名以内（地区副会長）
第4地区自主防災会	班長 各班3名以内（地区班長）

各地区の自主防災会の組織は、別表1の通りです。また、付録1の「伊豆高原親和会連合自主防災会マップ」を参照して下さい。

連合自主防災会及び各地区自主防災会の事務局は親和会事務所内です。

伊豆高原親和会員は自主防災会員とします。

伊豆高原親和会員のうち、定住者の名簿は事務局が作成し保管します。

事務局は常に定住者の入退会を確認し、定住者名簿を更新します。

### 3 伊豆高原親和会・連合自主防災会の『平常時』の防災活動

#### （1）平常時の防災活動

- ・伊東市が定める年間自主防災活動計画等への参加・協力
- ・年間2回の自主防災訓練の計画・実施
- ・防災倉庫及び各種防災資機材の維持・管理

- ・自主防災の啓発・研修会への参加
- ・定住者会員名簿の作成・更新・管理
- ・地区、班ごとの関係構築
- ・(避難行動) 要援護者の把握及び支援体制の構築
- ・防災対策の推進(広報啓発等)

## (2) 自主防災訓練の実施

伊東市では、毎年秋に総合自主防災訓練、12月の第1日曜日に地域自主防災訓練を実施します。自主防災会は連合自主防災会を主体に、市の実施要領に基づき、これら自主防災訓練に参加し、自主防災意識の啓発と高揚に努めます。

### 《訓練の内容》

- ・警報発令情報の伝達と周知徹底：広報放送等からの情報確認
- ・出火防止措置の実施：使用中の火の始末、ガス元栓の閉栓、プロパンガスボンベのバルブの閉栓
- ・消火器とバケツの準備、浴槽への貯水、電気ブレーカーの遮断
- ・消火栓、消火ホース格納箱の場所確認、格納箱内の備品の点検
- ・「OKシグナル旗」の掲出
- ・担架、三角巾の使い方等
- ・救出救護用資機材(発電機、チェーンソー、担架等)の操作
- ・避難場所の確認
- ・緊急時給水場所の確認
- ・訓練参加人員の報告

### 《大地震発生時、黄色の『OKシグナル旗』について》

大地震が発生し、家屋の倒壊、家具の転倒、火災の発生、その他事故によりケガをして動けないため外部に救助を求めることが不可能な場合に、外部からその状況を察知できるようにする為の物です。

予め各世帯に配布してある「OKシグナル旗」の掲出の有無で、その世帯内の被害の有無が確認できます。

「OKシグナル旗」掲出あり 《被害なし》

「OKシグナル旗」掲出なし 《被害あり、救助を要すると判断》

### 《親和会の災害時の備蓄品について》

親和会の備蓄品は各地区の防災倉庫に資機材等を備蓄しています。

地区	倉庫	設置場所
第1地区	第1防災倉庫	南大室台入口
第2地区	第2防災倉庫	伊豆高原親和会事務所 駐車場脇
第3地区	第3防災倉庫	伊豆高原18次地区 ボイラー室入口
	第4防災倉庫	伊豆高原19-2次地区 県道下
第4地区	第5防災倉庫	伊豆高原23次地区 第11配水槽横

食料・水は備蓄していません。  
倉庫の鍵は会長・副会長・班長が保管しています。

### (3) 各家庭での備え（自助）の啓発

「伊東市総合防災ガイドブック」最新版を活用する。

「伊東市総合防災ガイドブック」には、各種自然災害のハザードマップをはじめ、大地震時の対応方法、避難所の場所、備蓄品・非常持ち出し品の例が、豊富な図を使い具体的に記載されています。

#### 《「伊東市総合防災ガイドブック」入手方法》

入手方法 1) 市役所危機対策課窓口、八幡野コミセン対島出張所で入手できます。  
注) 令和7年4月に定住者宅には全戸配布済。

入手方法 2) 伊東市HPからダウンロードできます。

（「伊東市総合防災ガイドブック」で検索）

## 4 大地震発生緊急時の対応

伊東市に準じ本防災会では次のような状態を大地震緊急時とします。  
大地震（震度5弱以上）が発生し緊急地震速報が発令されたとき。

### (1) 大地震発生時の対応

付録2の「大地震避難チャート」を参照して下さい。

#### 《各会員が行うこと》

- ① 落ち着いて、先ず自分の身を守る
- ② 火元の確認
- ③ 家族の安全確認・隣近所と声をかけあう
- ④ 異常がない場合は『OKシグナル旗』を掲出
- ⑤ 近所で被害があった場合は、協力して助け合う  
同時に「消防署」または「自主防災対策本部」へ救助を要請  
火災発生の場合は初期消火活動（※注意・無理はしない）
- ⑥ ラジオ・テレビ・同報無線等による情報の収集

#### 《各自主防災会班長が行うこと》

- ① 『OKシグナル旗』の掲出の確認
- ② 班会員の被害状況確認
- ③ 地区内の<災害対策>に協力
- ④ 班の被害状況を自主防災会会長へ報告する

#### 《各自主防災会会長が行うこと》

- ① 各自主防災班長へ被害状況確認
- ② 副会長は会長の判断により災害対策本部に詰める
- ③ 班長不在の場合は班員の協力を得る
- ④ 地区内で災害が発生した場合、状況に応じた協力体制をとる

## ⑤ 地区内の被害状況を本部へ報告する

《連合自主防災会会長が行うこと》

- ① 各自主防へ被害状況の確認
- ② 災害が発生した場合、地域内協力体制の呼びかけ
- ③ 地域内被害状況を伊東市災害対策本部対島支部へ報告する

＜伊豆高原親和会災害対策本部＞

伊豆高原親和会事務所内 電話 0557-53-1122

＜伊東市災害対策本部対島支部＞

八幡野コミュニティセンター内 電話 0557-53-0002

＜伊東市災害対策本部＞

伊東市役所 電話 0557-36-0111 (代表)

### (2) 避難について

《避難場所と避難所の違い》

- 避難場所 地震による津波、火災、洪水などのリスクから命を守るために緊急避難する場所  
富戸小学校、富戸公園、八幡野小学校、対島中学校、旧伊東高校城ヶ崎分校、池小学校
- 避難所 自宅に住めなくなった人が一時的に共同生活を送る場所  
老人憩の家城ヶ崎荘、富戸幼稚園、富戸コミュニティセンター、八幡野幼稚園、八幡野コミュニティセンター、池幼稚園、生涯学習センター池会館

《避難所生活について》

- ・生活区域が設けられ、生活上のルールが定められます。
- ・安否確認・伝言・情報伝達のために掲示板が設けられます。
- ・情報・物資補給・輸送・衛生等で運営本部に協力すること。

《在宅避難者の支援について》

- ・在宅避難者も避難所の支援対象です。
- ・生活物資や炊き出しなどの食糧支援をはじめとする様々な支援が提供されます。
- ・親和会は自主防災会を中心に、情報提供・共助の活動を行います。

《（避難行動）要援護者への対応》

各地区は、要援護者を把握し、震度5弱以上の地震等があった場合は訪問し、声掛けを行う等の救援活動を行います。

### (3) 給水と給水場所について

大地震が発生すると長時間の停電、水道管の破損などが考えられます。水道施設が損傷を受けて場合、損傷程度により復旧に多くの日数を必要とすることも考えられます。その場合には給水車の出動要請もしますが、その時々の状況に即した対応をとることが肝要と考えます。

過去の大震災の教訓では、給水が一番の問題であったため、行政からは個人の水備蓄は最低7日分を確保してほしいとの指導があります。

#### 地域別緊急給水場所一覧表

下記配水槽脇の「緊急時給水場所」で給水します。

地区名	班 名	給水場所	最大貯水量
第1地区	1班～6班の全班	最高区配水槽	1,000トン×2基
第2地区	1班・2班	中区配水槽	150トン×1基
	3班・5班・6班	低区配水槽	150トン×1基
	4班・7班・8班	第6配水槽	150トン×1基
第3地区	1班～4班の全班	第8配水槽	140トン×1基
	5班	低区配水槽	150トン×1基
第4地区	1班	第8配水槽	140トン×1基
	2班～5班の全班	第11配水槽	113トン×1基

#### 《給水について》

- ・給水時間は災害発生により断水している期間の原則として毎日午前10時より15時までとします。
- ・給水量は原則として1世帯1日最大20ℓまでの予定です。
- ・日頃から、緊急時給水場所の確認、ポリタンクや搬送道具などの準備や確認をすることが大切です。
- ・広域避難場所へ避難した場合は、その指示に従って下さい。

別表1 各地区自主防災会の構成

地区自主防災会	班	分譲地番号
第1地区自主防災会	1班	南大室台4次・5次
	2班	南大室台2次・3次・4次
	3班	南大室台1次・2次
	4班	伊豆高原6次・11次・B地区
	5班	伊豆高原4次・5次・6次
	6班	伊豆高原4次・5次・9次-1
第2地区自主防災会	1班	伊豆高原1次・2次
	2班	伊豆高原1次・13次
	3班	伊豆高原3次・7次・8次
	4班	伊豆高原1次・7次・8次・16次
	5班	伊豆高原7次・8次
	6班	伊豆高原8次・9次
	7班	伊豆高原12次・13次・16次
	8班	伊豆高原12次・14次
第3地区自主防災会	1班	伊豆高原15次・17次
	2班	伊豆高原20次
	3班	伊豆高原18次
	4班	伊豆高原19次-1・19次-2
	5班	伊豆高原10次
第4地区自主防災会	1班	伊豆高原26次
	2班	伊豆高原21次・22次・23次
	3班	伊豆高原22次・23次・27次
	4班	伊豆高原23次・24次
	5班	伊豆高原25次

# 伊豆高原親和会

静岡県伊東市八幡野1208-95

TEL:(0557)53-1122 FAX: (0557)54-4222

公式掲示板: <https://izukogen-shinwakai.org>



2025(令和 7 年)11 月発行